



お見事！市長賞受賞

浦添市小・中学生美術作品展

知念愛美さん（7班 港中2年）

第19回「浦添市小学校・中学校美術作品展」の表彰式がこのほど行われ、5中学校応募作品の中から、知念愛美さんが唯一市長賞を受賞しました。首里城久慶門を題材に描き、石垣や赤瓦の屋根の色遣いや周辺の緑の配置など、全体に高い審査評価を受けていました。愛美さんは、公民館でのエイサー教室でもリーダー的存在で、表彰式でもしっかりとした口調で代表謝辞を述べていました。（上写真）母・知念美幸さん、末弟・そのる君と受賞を喜ぶ愛美さん（右）

市道「牧港線」街路整備問題 事業所側も交通悪化を懸念

初 地域と共同で行政に訴え

西海岸道路開通からすでに2年。だが、市道・牧港線の整備計画は停滞したまま。下港川越地原への「ゆがふインホテル」建設計画を機に、周辺の事業所全体が「このままでは早晚交通渋滞が起きる」と危機感を強め、地域と一帯となって、浦添市に域内の市道を含め早急な道路整備を求めることになりました。陸運事務所や沖電なども賛同しており、崎原、県営団地を含む3自治会も組織決定に動いています。評議員会では、共同行動への参加を決めるとともに、推移を見ながら独自の要請行動も準備します。



14日に行われた浦添市ちゅらまち推進課によるカーミージーでの公園計画説明会



発行／港川自治会（公民館）〒901-2134 浦添市港川三六番地
090-3745-6691（総机）／090-3324-4925（嘉陽）

港川自治会だより

会員募集

20年1月
第326号

事業開始向け現地説明会

カーミージー海浜公園計画

新年度からカーミージー隣接私有地一帯の護岸工事が始まる。リゾートホテル建設事業者や一般社団法人「里浜未来ネットワーク」関係者、自治会代表などを対象に、岩のや浜辺の活用、整備への考え方などで行政の検討状況説明、それに対する意見交換会が、15日現地で行われました。リゾートホテル側との境界や護岸とカーミージーの連続性、東側セブンイレブンにまたがる砂浜との連続性、トンネル周辺の北道路残地活用なども意見交換がありました。また、北道路港川交差点近くの駐車場に着いても、安全性を確保するため出入り口の移動検討していることなどの説明がありました。自治会では年度内での住民説明会を求める考えで日程を調整中。



ため出入り口の移動検討していることなどの説明がありました。自治会では年度内での住民説明会を求める考えで日程を調整中。

今年もアーサ汁提供

2月8日・9日の2日間

今年はコースが広がり参加者も延べ1500人が予定されています。

8日（土）は11時準備開始、9日

（日）午前8時集合で準備開始。

ゆぐいだき〜ときどき閑話

昨年11月から、公民館東側崖地にそびえていた「ガジマル」の伐採と切った枝の藩主作業が続いています。樹高約10m、枝も10m以上すぐ隣にお墓、住宅が建っている。伸びた根っこでコンクリート被害も心配だ。業者に伐採の見積をして貰った所、費用200万以上。関係者はみんな高齢化している。困り果てた姿に評議員、父母世代の有志が「みんなで切れるところまで切り落とそう」と立ち上がった。切れた写真。



当初はまるで「怪物」にでも立ち向かう感じ。体力に自信のある若手？が樹に登って枝を切り、他のメンバーが下で処理する。婦人や中学生、高齢者、お隣の教会からも助太刀が入ってくれた。ビッグプロジェクトだ。お墓の関係者は実費負担の上、作業にも多数が参加。さらに一段落後の年末には6世帯から計20万円もの謝礼も。今回は父母世代が中心となったため謝礼金は子ども達の活動に活かさせてもらうことにしています。困ったときの助け合いー自治会活動の原点でもあり、今回の挑戦が今後に継ぎつてくれることを願っています。有難うございました。